

東北地方 3か月予報

(3月から5月までの天候見通し)

平成23年2月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

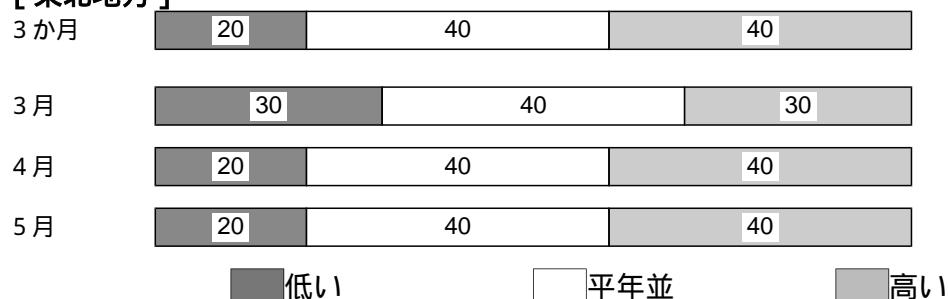
4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

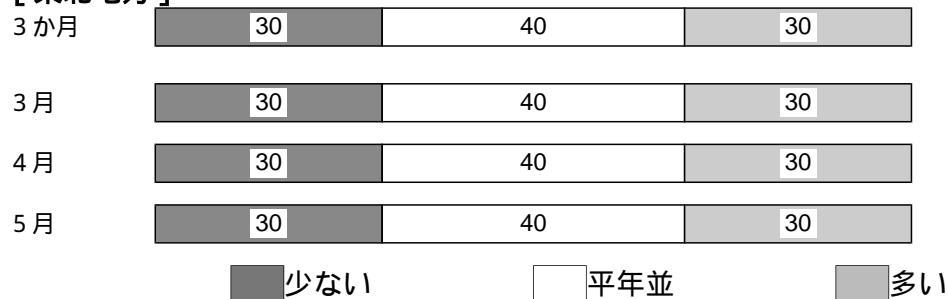
<< 気温 >>

[東北地方]



<< 降水量 >>

[東北地方]



<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月25日

3か月予報：3月24日(木) 14時

3月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月
青森	2.0	7.9	13.1	7.7	69.5	60.7	78.8	209.0	140.8	187.3	210.1	538.3
深浦	2.6	8.3	13.0	8.0	78.3	93.3	108.8	280.4	120.0	174.7	197.4	492.1
むつ	1.4	7.2	12.1	6.9	77.3	81.1	92.3	250.6	154.3	193.8	207.7	555.8
八戸	2.3	8.3	13.1	7.9	51.6	58.9	84.7	195.2	173.8	194.3	207.5	575.6
秋田	3.2	9.2	14.2	8.9	93.0	117.6	122.8	333.4	135.7	175.0	191.4	502.1
盛岡	1.8	8.4	13.8	8.0	80.1	93.8	103.3	277.3	167.3	175.1	194.9	537.3
大船渡	3.5	9.0	13.6	8.7	91.8	138.0	149.8	379.6	168.7	176.0	196.3	541.0
宮古	3.0	8.7	13.1	8.3	85.9	96.3	98.4	280.6	182.9	192.3	191.8	567.0
仙台	4.5	10.1	14.9	9.8	73.0	98.1	107.9	279.0	182.3	190.9	198.7	571.9
石巻	3.7	9.2	14.0	9.0	70.3	91.8	98.2	260.3	189.7	192.6	206.5	588.8
山形	3.1	9.8	15.4	9.4	66.5	68.1	81.3	215.8	146.5	180.3	201.9	528.6
新庄	2.0	8.1	14.2	8.1	112.1	98.3	106.6	313.6	117.2	150.2	180.1	448.2
酒田	4.2	9.8	14.9	9.6	103.5	105.5	116.8	325.8	126.1	173.1	198.7	497.8
福島	4.9	11.3	16.5	10.9	76.9	79.5	87.5	243.9	179.2	188.6	198.1	565.8
若松	3.0	9.9	15.5	9.4	63.9	63.4	80.5	207.8	140.1	175.8	197.9	513.7
白河	3.6	9.8	14.8	9.4	71.1	100.5	120.0	291.6	183.4	184.2	188.4	555.9
小名浜	6.2	11.1	15.1	10.8	106.1	128.3	147.0	381.4	187.8	186.1	198.4	572.3

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	3月	4月	5月	3月～5月
気温平年差()	東北地方	-0.4～+0.4	-0.3～+0.5	-0.3～+0.4	-0.4～+0.2
	東北日本海側	-0.4～+0.4	-0.5～+0.6	-0.3～+0.4	-0.4～+0.3
	東北太平洋側	-0.4～+0.3	-0.5～+0.5	-0.3～+0.4	-0.3～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	87～111	89～112	86～115	91～106
	東北日本海側	90～109	90～110	84～110	94～107
	東北太平洋側	78～120	84～113	82～111	89～106
日照時間平年比(%)	東北地方	91～108	94～103	98～105	98～104
	東北日本海側	92～108	92～106	95～104	99～104
	東北太平洋側	96～107	95～102	99～106	98～104

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（3～5月）

平成23年2月24日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

3～5月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
3月	気温は、各階級の確率の偏りは小さい。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
4月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。
5月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、各階級の確率の偏りは小さい。

2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

熱帶域の海面水温偏差(右上図)

は、太平洋赤道域は中部で負偏差、東部で正偏差が見られ、ラニーニャ現象は春に終息に向かうと考えられる。一方、太平洋西部では正偏差、インド洋では負偏差が続き、引き続きラニーニャ現象時に見られる分布となる。これに対応して対流活動（積乱雲の発生・発達など）はフィリピンの東で活発、インド洋で不活発となる。

このため大気下層ではフィリピンの東で低気圧性の風が強くなり、日本付近に流れ込む南からの暖かい空気が平年に比べて弱い傾向となるが、北日本への影響は小さい見込み。

500hPa 高度(右中図)は、ラニーニャ現象などの影響で日本の南海上など低緯度で広く負偏差、北太平洋北部で広く正偏差となる。北日本はこの正偏差の影響を受けやすい。

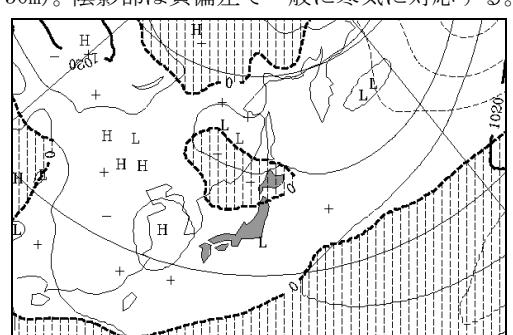
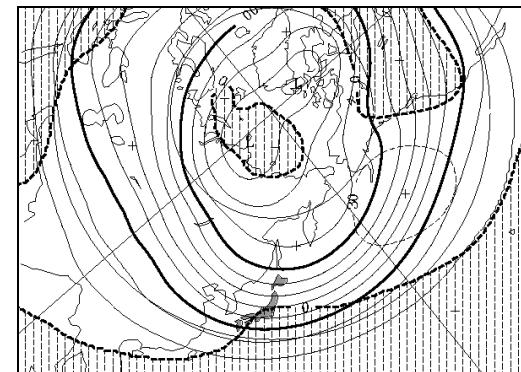
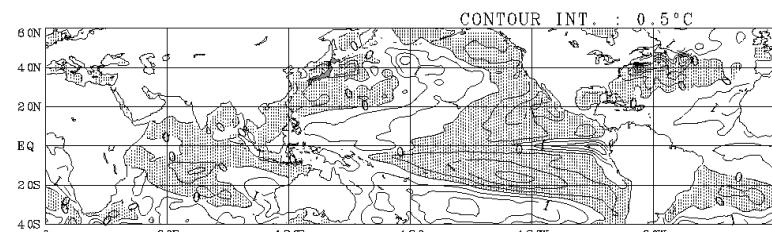
海面気圧(右下図)は、日本付近の等圧線の間隔が広く、平年と同様に低気圧と高気圧が交互に通ると予想される。

月別の海面気圧予想図(図略)などからは、

3月：低気圧と高気圧が交互に通り、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となる見込み。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。

4月：低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わる見込み。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。

5月：低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わる見込み。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いと予想される。



<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

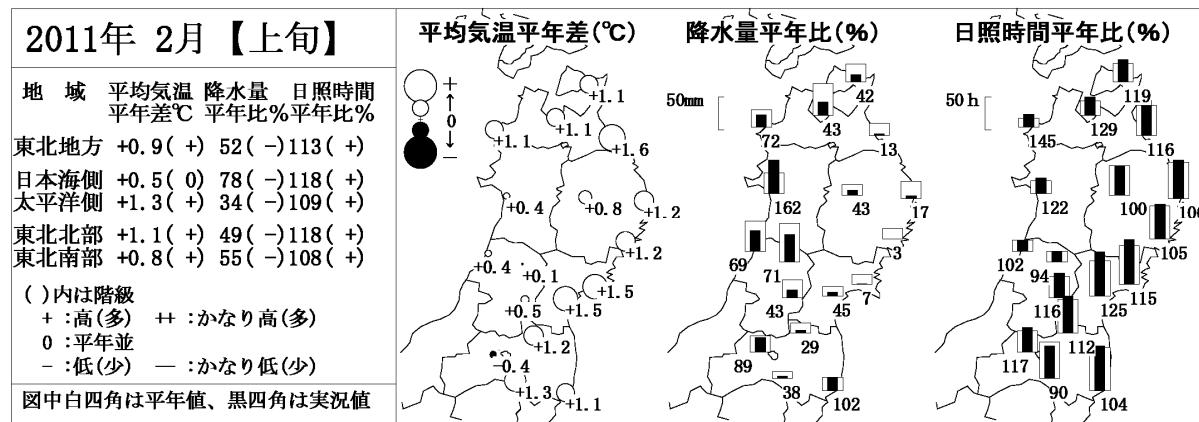
	青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
3月	14.1	13.9	13.6	14.2	18.7	10.5	20.4	7.0	15.9	11.1	20.2	7.7
4月	17.8	9.3	16.8	11.5	17.2	10.6	18.4	8.1	17.3	9.6	18.7	7.5
5月	18.4	9.6	16.9	11.0	17.2	10.1	17.6	8.5	18.0	9.0	17.9	8.0

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

3. 最近の天候経過

2月上旬：この期間、低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、低気圧や気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、大雪となった所があったが、高気圧におおわれて晴れの日もあった。東北太平洋側では晴れの日が多かった。

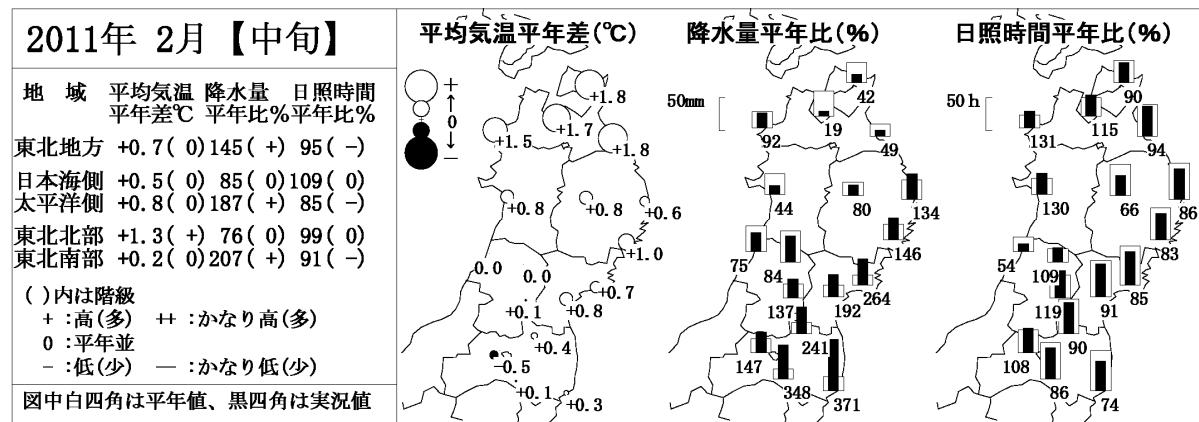
平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北地方で多い。



2月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

2月中旬：この期間、低気圧が短い周期で通過し、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となった。低気圧は日本の南岸から三陸沖を北東に進むことが多く、18日は東北太平洋側で大雨となった所があったなど、東北地方は曇りや雪または雨の日が多かった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

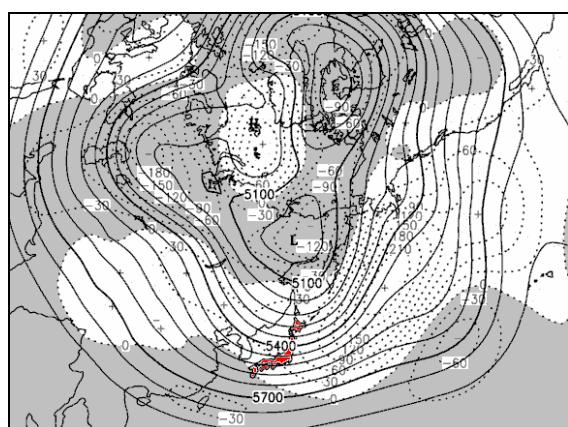


2月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

2月(20日まで)：500hPa高度は、ヨーロッパ付近から極東に連なる波列が明瞭で、日本付近は谷場となっているが、アリューシャンの南に中心を持つ東西に広がる正偏差におおわれ、寒気の南下は弱かった。

東北地方は、冬型の気圧配置が長続きせず、上旬は平年より高く、中旬は平年並の気温となった。



2月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高度線（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。
陰影部は負偏差。